

2-10 佐渡弥彦地方における地殻変動 (8)

Crustal Movements in Sado - Yahiko District (8)

東京大学地震研究所 弥彦地殻変動研究所

地殻変動研究室

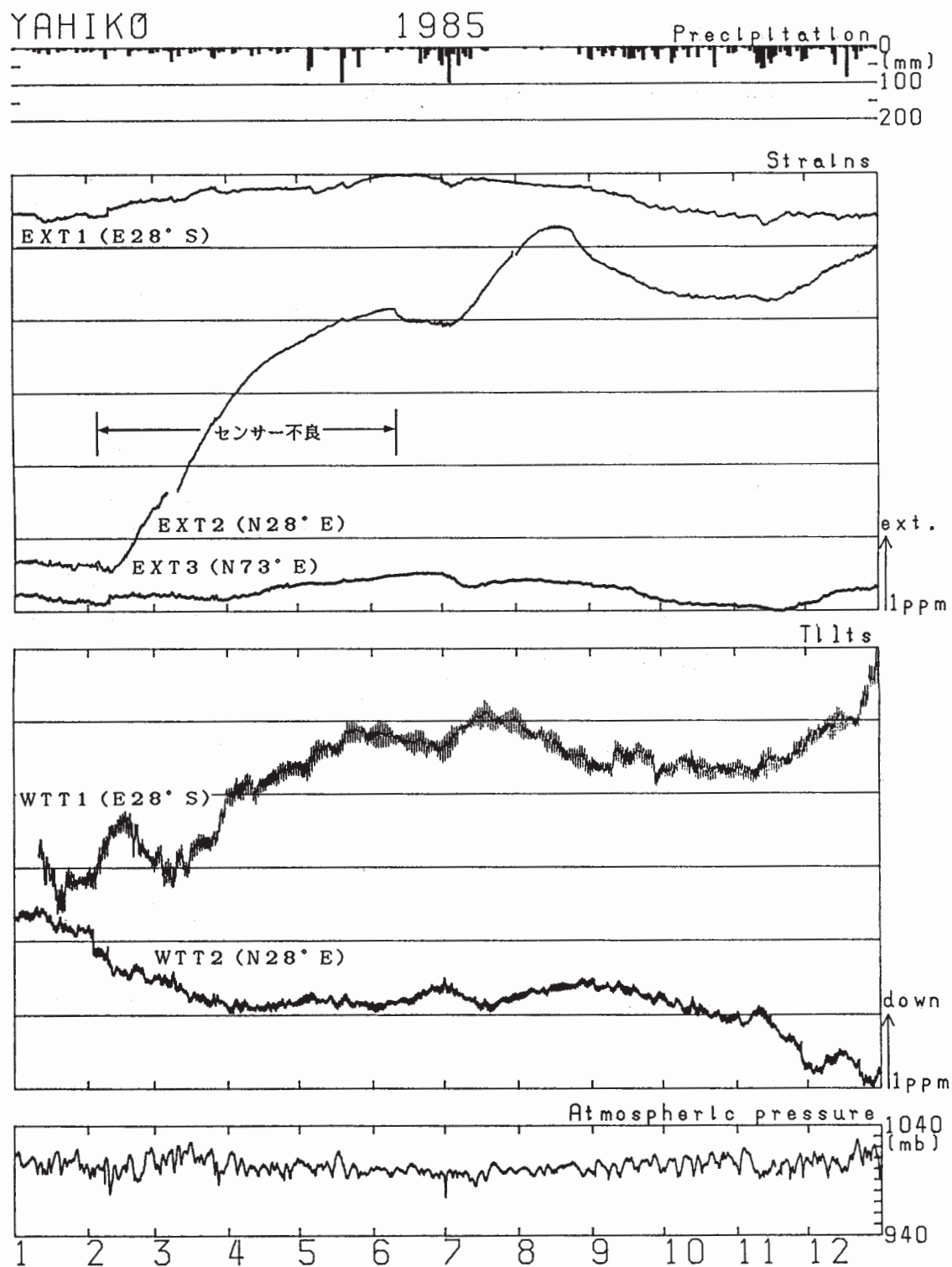
Yahiko Crustal Movement Observatory
Crustal Movement Research Division
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

弥彦観測所における地殻変動の観測結果について報告する。第1図は1985年及び1986年の水晶管伸縮計, フロート型水管傾斜計, 気圧 (いずれも毎時読取值) 及び日雨量記録である。1985年前半に伸縮計 (EXT2) に見られる大きなドリフトはセンサー不良によるものである。同年8月にもセンサーを交換したため, その影響と思われる遷移的变化が観測されている。その他, 顕著なイベントは見いだされない。以前の結果については文献^{1), 2)}を参照されたい。

第2図は読取型水管傾斜計による傾動ベクトル図である。作図に際しては, まず成分毎に月平均値を求めてから12ヶ月の移動平均計算を行い, その結果を合成した。図に見られる北西方向へのドリフトは坑の長手方向にはほぼ一致しており, 掘削の影響と考えられる。年と共にドリフトは減少しつつある。1981年以降の拡大図 (第2図 (b)) を見ると, 他の観測所でも見られるようなベクトルの回転が卓越しはじめている様子がうかがえる。

参 考 文 献

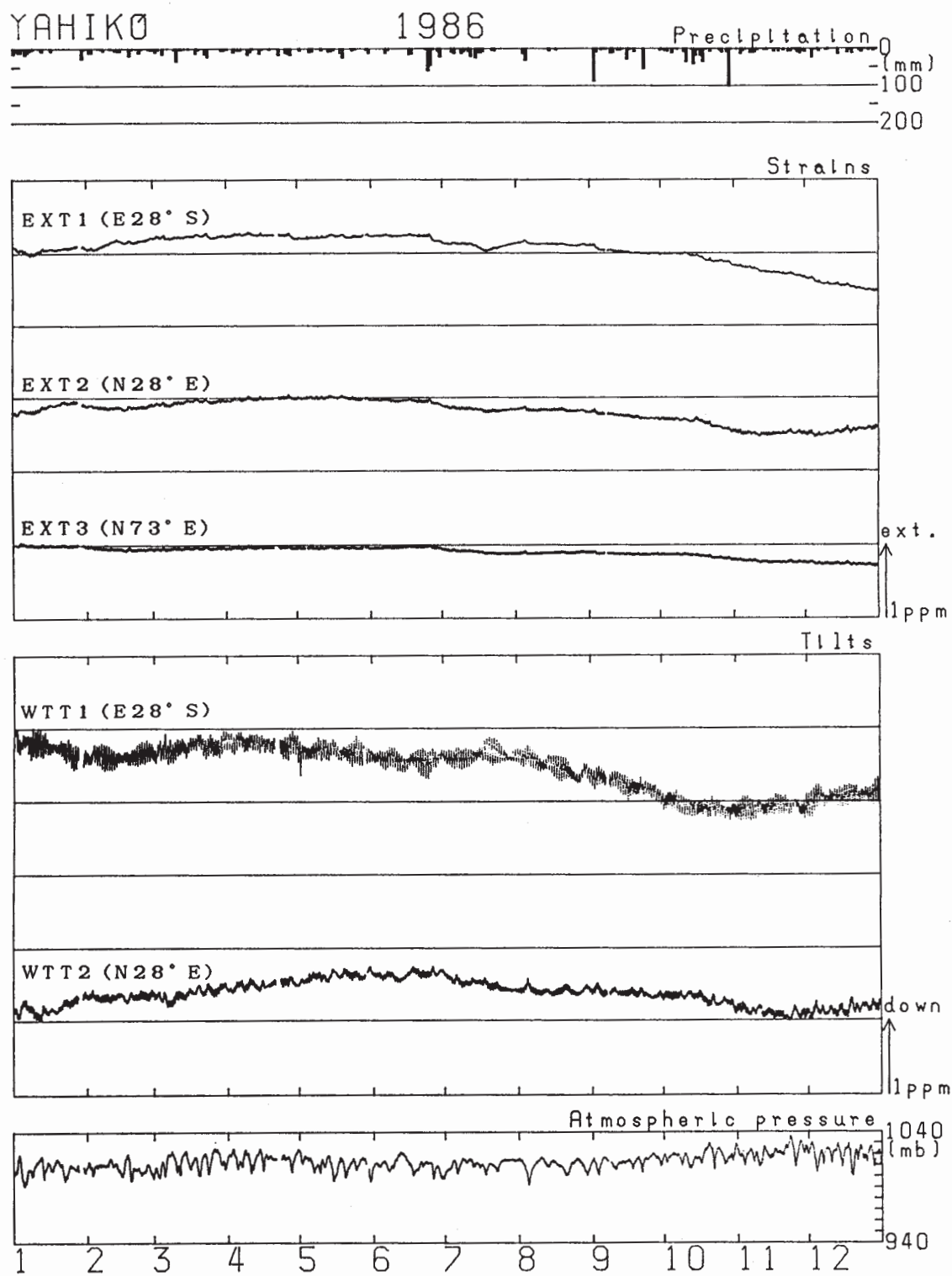
- 1) 東京大学地震研究所弥彦地殻変動観測所: 佐渡弥彦地方における地殻変動 (7), 連絡会報, **24** (1980), 139 - 141.
- 2) 東京大学地震研究所地殻変動研究室編: 地殻変動資料集 (1), (1986), 420 - 437pp.



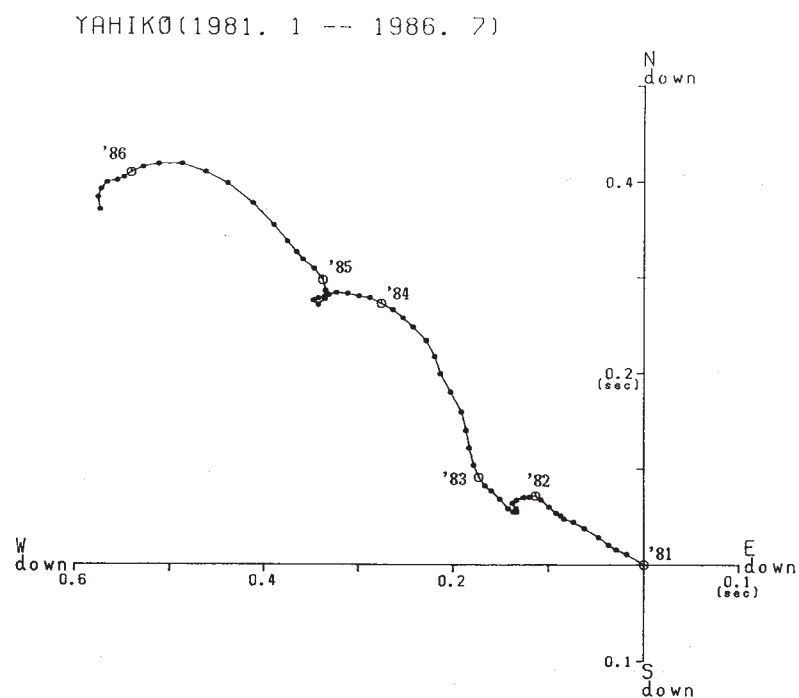
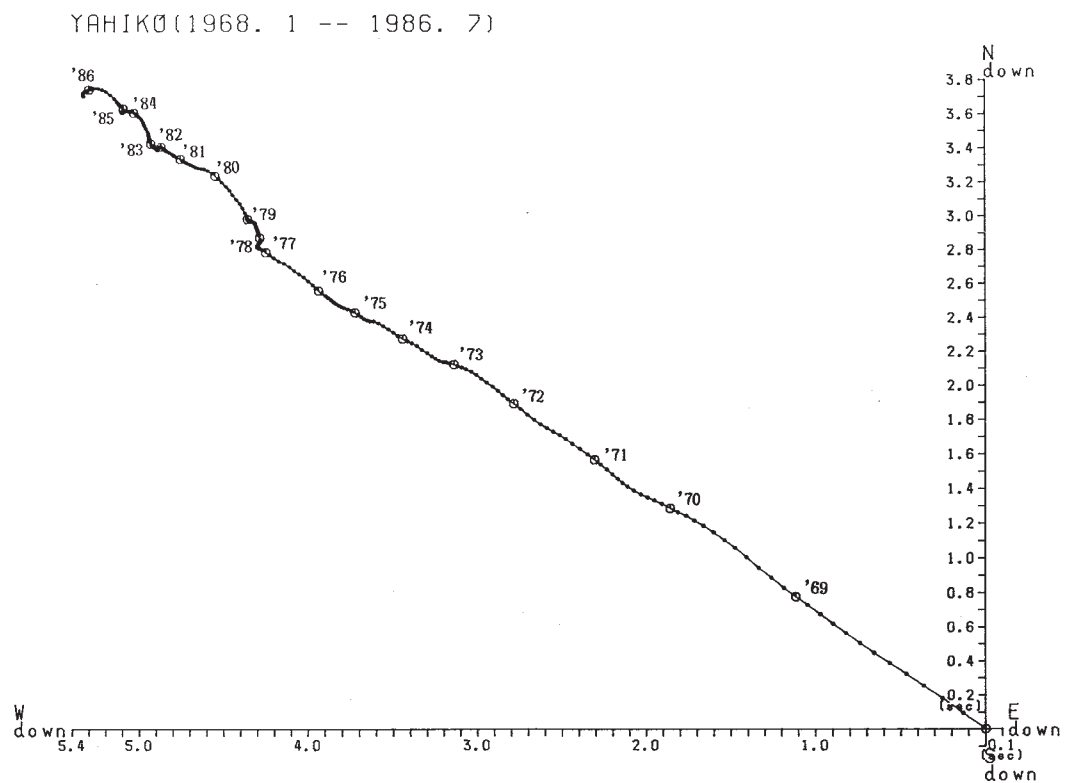
(a) 1985 年

第 1 図 弥彦観測所における水晶管伸縮計 (3 成分), フロート型水管傾斜計 (2 成分), 気圧 (いずれも毎時読取值), 及び日雨量記録

Fig. 1 The earth's strain, tilt, atmospheric pressure (hourly values) and daily precipitation at the Yahiko observatory for the period of (a) 1985 and (b) 1986.



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



第2図 読取型水管傾斜計記録（月平均値に12ヶ月移動平均を施したもの）による傾動ベクトル図

(a) 1968年1月～1986年7月、及び (b) 1981年1月～1986年7月

Fig. 2 Vector presentation of the reading type WTT record (after 12 month's running mean of the monthly mean). (a) January, 1968 - July, 1986 and (b) January, 1981 - July, 1986.